

3年 組 番 \_\_\_\_\_

※世界情勢の変化…18～19世紀

[ 月 日 ]

(1) 欧州諸国のアジア侵略

〈例〉イギリス→インド支配強化、清へ フランス→インドシナ地域へ  
ロシア→北太平洋へ(エカチェリーナ2世)、清とも接触 →日本へ

(2) 欧州世界の混乱 ナポレオン(仏)の領土拡大→オランダ王国消滅(1793-1813)、英国と対立

**ロシアとの関係と蝦夷地**

[I] ロシア来航以前 ※1778. ロシア船厚岸へ…松前藩が隠す

田沼 1 最上徳内らを蝦夷地探検に派遣→田沼失脚で中止

寛政 2 林子平『3 海国兵談』『三国通覧図説』→1792.5 処罰(版木没収、蟄居)

細かに思へば、江戸の日本橋より唐・阿蘭陀まで境なしの水路なり。

[II] ロシア船来航と幕府の対応

4 1792. 5 ラクスマン (軍人・地質学者)が6 根室へ来航(9/3)

7 大黒屋光太夫らの漂流民の送還と通商を求める ……筆記は桂川8 甫周

…伊勢の船頭 女帝エカチェリーナ2世と会見 漂流記『北槎聞略』

→通商は拒否(1793.6/27)、長崎への回航を要求(入港許可証を発行)

1798. 8 近藤重蔵らを東蝦夷探検に派遣

→国後・択捉へ “大日本<sup>クナシリ エトロフ</sup>恵登呂<sup>エトロフ</sup>府”標柱

1799. 幕府、東蝦夷を幕府直轄化

1800. 9 間宮林蔵を北方探検に派遣

→樺太・シベリアへも

…伊能忠敬に測量術を学ぶ

間宮海峡の発見[1809]

…樺太が島であることを確認

1802. 蝦夷奉行(箱館奉行)設置

1804. 10 レザノフ (貴族・毛皮会社重役)が11 長崎へ ←

漂流民 津太夫(皇帝アレキサンドル1世と会見 『環海異聞』)らの送還と通商要求

→拒否 →樺太・千島各地で武力衝突[1806～07]→日露関係悪化

1807. 西蝦夷も直轄化…箱館奉行を松前奉行と改称 松前藩は陸奥へ転封

1811. 12 ゴローウニン (軍人 『日本<sup>くなしり</sup>幽囚記』)を国後で捕える } ゴローウニン事件

1812. 13 高田屋嘉兵衛 (淡路の商人、<sup>えとろふ</sup>択捉で捕らわる) } →緊張緩和、

1813. 双方の人質の交換 } 国境の確定へ

→方針を変更…蝦夷地を松前藩に返還[1821]、奉行も廃止 ※のち再設置[1855]

## 欧米船の接近と打払い ☆英・米の捕鯨船なども薪・水・食料を要求

1806. 文化の薪水給与令(撫恤令)<sup>ぶじゅつれい</sup>…通商要求は拒否 薪・水・食料を与えて退去させる

1808. 14 フェートン号 事件 ☆ナポレオン戦争が長崎へ波及

英軍艦、オランダ商船を追って長崎へ→薪水・食料を強要→長崎奉行 松平康英自害

1825. 15 無二念 (異国船) 打払令 …清・オランダ船以外は理由に関係なく撃退

一体いきりすに限らず、南蛮・西洋の儀は御制禁邪教の国に候間、以来何れの浦方におゐても  
異国船乗寄候を見請候はゞ、其所に有候人夫を以て有無に及ばず一図に打払い。…二念無く  
打払いを心掛け、図を失わざる様…

※前年(1824)に水戸(大津浜)・薩摩(宝島)で外国船の上陸事件

1828. シーボルト事件…帰国時に日本地図など所持→国外追放。天文方高橋景保獄死。弟子50人処罰

1837. 16 モリソン号 事件…漂流者の送還と通商の要求→実力で撃退(浦賀・薩摩山川)

→批判<例> 17 渡辺崋山 『慎機論』(未公開)、 19 高野長英 『戊戌夢物語』(匿名)

…田原藩家老・蘭学者・画家

…町医者・蘭学者 シーボルトに師事

1839. 21 蛮社の獄 … 鳥居忠耀(耀蔵「妖怪」町奉行)による蘭学者の弾圧 崋山・長英ら処罰

… 22 尚歯会 (蘭学者グループ)への蔑称 他に江川英竜・川路聖謨・小関三英ら

1840~42 23 アヘン戦争…清の大敗

1842. 24 天保の薪水給与令…方針の転換

☆漂流民の帰国… ジョン万次郎(中浜万次郎帰国)1851、ジョセフ=ヒコ(浜田彦蔵帰国)1859、など

### 【正誤問題に挑戦】<1997年度日本試験より>

- (1) 大黒屋光太夫は、漂着してロシアから送還された後に、『赤蝦夷風説考』を著した。
- (2) 林子平は、ペリー来航を間近に見て、アメリカからの外圧に対する準備の必要性を説いた『海国兵談』を著して処罰された。